第3次桐生市地域福祉活動計画　進捗状況評価

基本目標1
安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A：大きく推進した　B：推進した　C：変化なし

D：後退した　E：廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1－1 福祉サービスなどの整備・充実	①	住民ニーズに合わせた基盤整備	サロン活動事業助成件数	R2	70	28	評価	D	D	D		
				R3	75	26	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参集形式での地域での集いの場の開催ができず、サロン活動助成件数は著しく減少した。一部地域においては感染対策を実施した上で、地域サロンが開催された。	前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により助成件数は減少した。感染対策を万全にし工夫して開催したサロンもあった。	引き続き、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により助成件数は減少したままである。少しずつ再開に向けた動きはある。		
				R4	80	29						
				R5	85							
			単位：件	R6	90							
	②	サービスの質の確保	地区別懇談会開催回数	R2	22	0	評価	D	D	D		
				R3	22	1	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会の開催が出来なかった。	新型コロナウイルス感染症が落ちついている時期に開催を計画したが、再拡大により多1ヵ所のみの開催となった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会が1ヵ所のみの開催となった。		
				R4	22	1						
				R5	22							
			単位：件	R6	22							
1－2 適切な福祉情報の提供	①	情報提供の充実	地域福祉通信の発行	R2	12	12	評価	B	B	B		
				R3	12	12	総評	地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。	地域福祉推進の中核となる民生委員児童委員あてに、最新の福祉動向や施策について、定期的に情報提供を行った。		
				R4	12	12						
				R5	12							
			単位：回	R6	12							
	②	計画の周知	地区別懇談会・協議体活動等を通じた計画及び進捗情報の周知	R2	22	4	評価	D	D	D		
				R3	22	7	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期な情報共有の場である地区別懇談会の開催が出来ず、説明が出来ていない。なお、支部長（区長）に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1jヵ所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長（区長）に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1か所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長（区長）に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。		
				R4	22	1						
				R5	22							
			単位：回	R6	22							
1－3 活動拠点としての施設活用	①	集いの場づくりへの支援	福祉のまちづくりセミナーの開催	R2	1	1	評価	C	C	B		
				R3	1	1	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により参集形式での開催が困難であるため、映像資料を作成した。	新型コロナウイルス感染症対策として参集形式とオンライン配信の併用でコロナ禍での地域福祉活動についてと題してセミナーを開催した。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、3年ぶりに参集形式で開催することができた。防災と福祉について考える機会を市民に提供した。		
				R4	1	1						
				R5	1							
			単位：	R6	1							
	②	活動情報の提供	ボランティアの相談支援（登録・マッチング・ニーズ）	R2	220	100	評価	D	D	D		
				R3	220	93	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設でのボランティア受け入れが出来ず、件数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、施設でのボランティア受け入れができず、件数が減少した。	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設でのボランティア受け入れができず、件数が少ないままであった。		
				R4	220	90						
				R5	220							
			単位：件	R6	220							

第3次桐生市地域福祉活動計画　進捗状況評価

基本目標1
安心・安全の地域づくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A：大きく推進した　　B：推進した　　C：変化なし

D：後退した　　E：廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1－4 健康・介護予防の推進	①	介護予防の普及啓発	生活支援コーディネーターによるサロン支援件数	R2	50	22	評価	D	D	C		
				R3	55	21	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域サロンへの参加が出来ない状況であったため、件数は減少した。一方で、再開サロンへの感染症拡大防止に向けた助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休止していたサロンの再開にあたり、感染症拡大防止に向けた助言及び情報提供を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響によりサロンの件数は少ないが、継続しているサロン及び休止していたサロンの再開にあたり、助言及び情報提供を実施した。		
				R4	60	38						
				R5	65							
			単位：件	R6	70							
1－5 災害時などの支援協力体制	①	災害時避難行動要支援者名簿の活用		R2			評価	C	C	C		
				R3			総評	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍においてほぼ実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍において実施できなかった。	市役所、民生委員等と連携し、要支援者名簿を活用した個別プランの作成については、コロナ禍において実施できなかった。		
				R4								
				R5								
			単位：	R6								
	②	連携・災害時の体制づくり	地域福祉活動推進事業　自主防災事業助成件数	R2	10	4	評価	D	D	D		
				R3	10	3	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小したため、減少した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災情報の周知、防災物品の配布など、新しい形での活動が実施された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災物品の配付など、新しい形での活動が実施された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の自主防災活動が縮小した。一部地域においては、ポスティングや訪問による防災物品の配付など、新しい形での活動が実施された。		
				R4	15	2						
				R5	15							
			単位：	R6	15							

第3次桐生市地域福祉活動計画　進捗状況評価

基本目標２
支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A：大きく推進した　　B：推進した　　C：変化なし

D：後退した　　E：廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2－1 相談支援体制の充実	①	相談支援拠点の整備	生活福祉資金貸付相談件数	R2	600	3,680	評価	A	A	C		
				R3	700	2,097	総評	生活福祉資金貸付特例貸付の実施に伴い、相談件数が大幅に増えた。	生活福祉資金貸付特例貸付の実施に伴い、相談件数が増加した。	生活福祉資金貸付特例貸付が、令和4年9月で終了したため、相談件数が減少傾向にある。		
				R4	800	748						
				R5	900							
			単位：件	R6	1000							
	②	連携・協力	個別支援ケースへの相談件数	R2	70	79	評価	A	D	C		
				R3	75	34	総評	地区担当者が制度の狭間にある個別支援ケースへの対応を関係機関と連携・協力し実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個別支援ケースの相談が減少した。	本人からの相談が増加し、社協全体で相談体制がとれている。		
				R4	80	45						
				R5	85							
			単位：件	R6	90							
2－2 地域における権利擁護の推進	①	体制整備・情報発信	福祉サービス利用援助事業の関係機関への周知	R2	10	8	評価	C	C	C		
				R3	10	8	総評	日常生活圏域連携会議や地域ケア会議等において、地域包括支援センター等に向けて情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議等において、地域包括支援センター等に向けて、また民生委員児童委員協議会役員会にて報告及び情報提供を実施した。	日常生活圏域連携会議や地域ケア会議等において、地域包括支援センター等に向けて情報提供を実施した。		
				R4	10	8						
				R5	10							
			単位：件	R6	10							
	②	制度の利用促進	福祉サービス利用援助事業契約件数	R2	80	88	評価	B	B	B		
				R3	60	102	総評	情報発信により、利用件数が増加した。地域の権利擁護の推進を図ることができた。	新規相談が増加したため、契約件数が増加した。また、みどり市への移管が翌年になった。	みどり市の利用者の多くがみどり市社協へ移管したため、契約件数が減少したが、新規契約数は増加している。		
				R4	65	80						
				R5	70							
			単位：件	R6	75							
2－3 住民同士のつながり、住み慣れた地域での生活の充実	①	交流の支援	地域福祉活動推進事業（サロン事業・自主防災事業・介護予防事業・世代間交流事業）	R2	85	36	評価	D	D	D		
				R3	85	33	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種地域福祉活動が縮小し、件数が減少した。一部地域においては、新しい形での地域福祉活動が開始された。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域福祉活動が縮小し、件数が減少した。一方、地縁によらない介護予防活動の支援ため、高齢者通いの場づくり応援事業を開始した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、件数が減少したが、再開の準備を進めているサロンも多い。また、高齢者通いの場づくり応援事業の利用は増加した。		
				R4	85	38						
				R5	85							
			単位：件	R6	85							
	②	団体との連携	地区担当制事業支部社会福祉協議会活動実績（相談・参加等）	R2	180	147	評価	D	B	B		
				R3	185	288	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域活動の縮小し、件数が減少した。	コロナ禍であっても実施している活動には積極的に参加たため増加した。	コロナ禍であっても実施している活動に、積極的に参加したため増加した。		
				R4	190	363						
				R5	195							
			単位：件	R6	200							

第3次桐生市地域福祉活動計画　進捗状況評価

基本目標２
支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A：大きく推進した　　B：推進した　　C：変化なし

D：後退した　　E：廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2－4 地域全体によるネットワーク化の推進	①	社会福祉法人との連携	社会福祉法人・社会福祉施設連絡会の開催	R2	10	12	評価	A	C	A		
				R3	10	8	総評	小地域における災害時に関する情報交換会・情報交換会代表者会議を開催し、災害時の応援体制、公益的な取組、連絡会設立に向けた情報交換を実施した。	小地域における災害時に関する情報交換会・情報交換会代表者会議を開催し、災害時など地域における公益的な取組等について情報交換し、社会福祉法人の連携を図った。	連絡会を設立し、連携強化、支援体制を整備した。		
				R4	10	2						
				R5	10							
			単位：回	R6	10							
	②	体制整備	地区別懇談会開催回数	R2	22	0	評価	D	D	D		
				R3	22	1	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期的な情報共有の場である地区別懇談会が開催できず、地域福祉課題解決に向けた検討が出来なかった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地区別懇談会の開催は1ヵ所のみとなってしまったが、開催準備として支部長等に個別に説明した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の定期な情報共有の場である地区別懇談会の開催が1か所しか出来ず、周知が十分できていない。一部の支部長（区長）に対しては個別訪問を行い、説明を実施した。		
				R4	22	1						
				R5	22							
			単位：回	R6	22							
2－5 ネットワークによる支援が必要な人の把握とその支援体制の整備	①	支援体制の構築	個別支援ケースにおける関係機関との連携回数	R2	120	153	評価	A	B	C		
				R3	130	153	総評	個別支援機関としての周知がなされ、相談件数が増加した。相談増加に伴い、関係機関とのより一層の連携が必要となり、関係機関との事例に対する検討・対応が増加した。	関係機関に周知したことで、相談件数が増加した。複雑な事例が増えてきているので職員のｽｷﾙｱｯﾌﾟが必要である。	各専門機関の役割や支援内容の理解が深まり、より良好な関わりができている。		
				R4	140	98						
				R5	150							
			単位：回	R6	150							
	②	必要な情報の提供	地域ケア会議への参加回数	R2	50	54	評価	A	B	B		
				R3	50	65	総評	多職種による個別支援事例・地域課題の検討を図り、地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施した。	多職種による地域ケア会議に積極的に参加した。地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施するとともに地域課題の把握に努めた。	多職種による地域ケア会議に積極的に参加した。地域のインフォーマルサービスについての情報提供を実施するとともに地域課題の把握に努めた。		
				R4	50	53						
				R5	50							
			単位：回	R6	50							

第3次桐生市地域福祉活動計画　進捗状況評価

基本目標３
地域を支える
人づくり・活動の促進

※「評価」欄については、当該年度の事業（おもな取組）の推進結果について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A：大きく推進した　　B：推進した　　C：変化なし

D：後退した　　E：廃止した

取組の方向性	No	取組	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	社協	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3－1 地域福祉推進のための協働	①	協働の場づくり	地域福祉計画・地域福祉活動計画打ち合わせ会議	R2	6	7	評価	A	D	D		
				R3	6	2	総評	地域福祉計画・地域福祉活動計画に進捗についての情報共有及び今後の推進に向けた協議を関係機関で行った。	地域福祉計画・地域福祉活動計画に進捗についての情報共有及び今後の推進に向けた協議を行うとともに、初年度の評価を実施した。	地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗について情報共有及び今後の推進に向けた協議を行うとともに、2年目の評価を実施した。		
				R4	6	1						
				R5	6							
			単位：回	R6	6							
3－2 市民活動の推進	①	活動の支援	ボランティアの相談支援（登録・マッチング・ニーズ）	R2	220	100	評価	D	D	D		
				R3	220	93	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、件数が減少した。若年向けボランティア、勤労世代への働きかけは実施できていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、全体の件数が減少した。特に、個人のボランティア登録者数が激減した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティア活動は縮小し、全体の件数が減少した。特に、個人のボランティア登録者数が減っている。		
				R4	220	90						
				R5	220							
			単位：件	R6	220							
	②	情報提供	ホームページやSNS等の活用による情報発信	R2	5	0	評価	D	D	D		
				R3	10	0	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないこともあり、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアニーズが少ないため、ホームページ及びSNSによる活動紹介及び情報提供ができていない。		
				R4	15	0						
				R5	20							
			単位：	R6	25							
3－3 福祉教育の推進	①	学校教育との連携	福祉体験学習の実施件数	R2	35	2	評価	D	D	D		
				R3	35	0	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、福祉体験学習（車椅子・視覚障害者体験・高齢者疑似体験）が実施出来ず、講話のみとなり、件数が減少した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉体験学習は中止とした。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、福祉体験学習を再開した。		
				R4	35	14						
				R5	35							
			単位：件	R6	35							
	②	体験学習機会の提供	福祉体験学習受講者数	R2	1500	48	評価	D	D	D		
				R3	1500	0	総評	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、福祉体験学習（車椅子・視覚障害者体験・高齢者疑似体験）が実施出来ず、講話のみとなり、受講者数が減少した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉体験学習は中止とした。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、福祉体験学習を再開した。		
				R4	1500	602						
				R5	1500							
			単位：名	R6	1500							
3－4 地域の人材育成	①	担い手の発掘・養成及び情報発信	福祉のまちづくりセミナーの開催	R2	1	1	評価	C	C	B		
				R3	1	1	総評	担い手の発掘・養成に向け、福祉のまちづくりセミナーを映像資料を作成した。定年退職者向けの取組及び勤労世代へ向けの地域福祉活動については、実施できていない。	地域福祉活動計画の理解促進・住民主体による地域福祉活動推進のため開催した。新型コロナウイルス感染拡大予防のため参集形式およびオンライン配信を併用した。	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、3年ぶりに参集形式で開催することができた。防災と福祉について考える機会を市民に提供した。		
				R4	1	1						
				R5	1							
			単位：回	R6	1							